

世界セレクトティブ株式オープン

運用報告書（全体版） 第 1 期

（決算日 2020年 4 月27日）
（作成対象期間 2019年 4 月17日～2020年 4 月27日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2019年 4 月17日～2024年 4 月25日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I コクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
1 期末(2020年 4 月27日)	円 10,039	円 0	% 0.4	8,984	% △10.2	% －	% 98.3	百万円 6,582

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、M S C I Inc.の承諾を得て、M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc.に帰属します。またM S C I Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：10,039円（分配金0円）

騰落率：0.4%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

海外先進国株式市況は下落しましたが、海外の持続可能な競争優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に投資したことにより、主にマイクロソフトやアリババ・グループ・ホールディングなどの株価上昇が寄与し、基準価額は小幅に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コクサイ 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率
	騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 4 月17日	円 10,000	% －	10,000	% －	% －	% －
4 月末	10,100	1.0	9,989	△ 0.1	－	82.0
5 月末	9,730	△ 2.7	9,349	△ 6.5	－	98.6
6 月末	10,047	0.5	9,684	△ 3.2	－	98.4
7 月末	10,468	4.7	9,944	△ 0.6	－	98.9
8 月末	10,203	2.0	9,453	△ 5.5	－	98.3
9 月末	10,149	1.5	9,754	△ 2.5	－	98.6
10月末	10,427	4.3	10,128	1.3	－	99.0
11月末	10,767	7.7	10,511	5.1	－	99.0
12月末	11,138	11.4	10,824	8.2	－	101.1
2020年 1 月末	11,336	13.4	10,839	8.4	－	97.1
2 月末	10,535	5.4	9,986	△ 0.1	－	97.3
3 月末	9,570	△ 4.3	8,494	△15.1	－	98.2
(期末) 2020年 4 月27日	10,039	0.4	8,984	△10.2	－	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.4.17~2020.4.27)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市場は、当作成期首から2019年5月末にかけて、米中関係の緊張が続いたことから下落しました。その後2020年2月中旬にかけては、米中通商交渉の進展などが好感されて上昇しました。3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済への悪影響が懸念されたことや、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議決裂による原油価格の急落などを受けて、大きく下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、反発しました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高米ドル安）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2019年8月下旬にかけて、米中貿易摩擦の激化などにより下落しました。その後2020年2月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念の後退に加えて、香港情勢の改善などが投資家心理の改善につながり、上昇しました。3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。3月下旬にかけては、市場の混乱が米ドル需要の高まりにつながったことから反発しましたが、当作成期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて市場が落ち着いたことから米ドル買いの動きが抑制され、米ドル円は下落しました。

ポートフォリオについて

(2019.4.17~2020.4.27)

■当ファンド

当ファンドは、MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、資金流入に応じてMF Gグローバル株式ファンドを買い付けたあと、投資比率を高位に維持しました。

※MF Gグローバル株式ファンド：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。デジタル・プラットフォームの拡大やキャッシュレス社会への移行、高齢化する人口動態や中国の消費拡大などから恩恵を受けると考えられる銘柄を選択しました。2020年3月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大によって株式市場の下落リスクが高まっていると判断し、ファンドの資産を保全するため、保有する現金の比率を高めました。

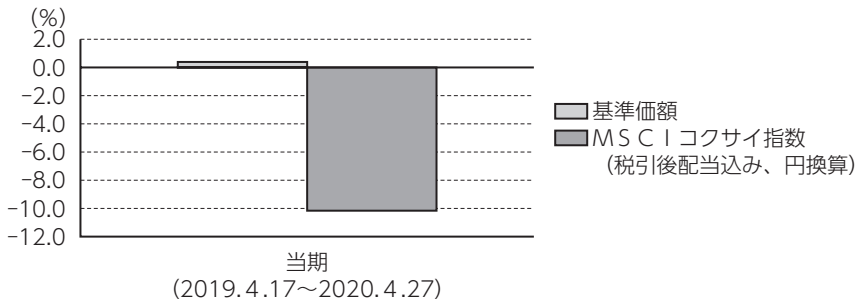
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年4月17日 ～2020年4月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	39

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、MF Gグローバル株式ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.4.17~2020.4.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	119円	1.152%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,333円です。
(投 信 会 社)	(35)	(0.337)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(81)	(0.787)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	120	1.160	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

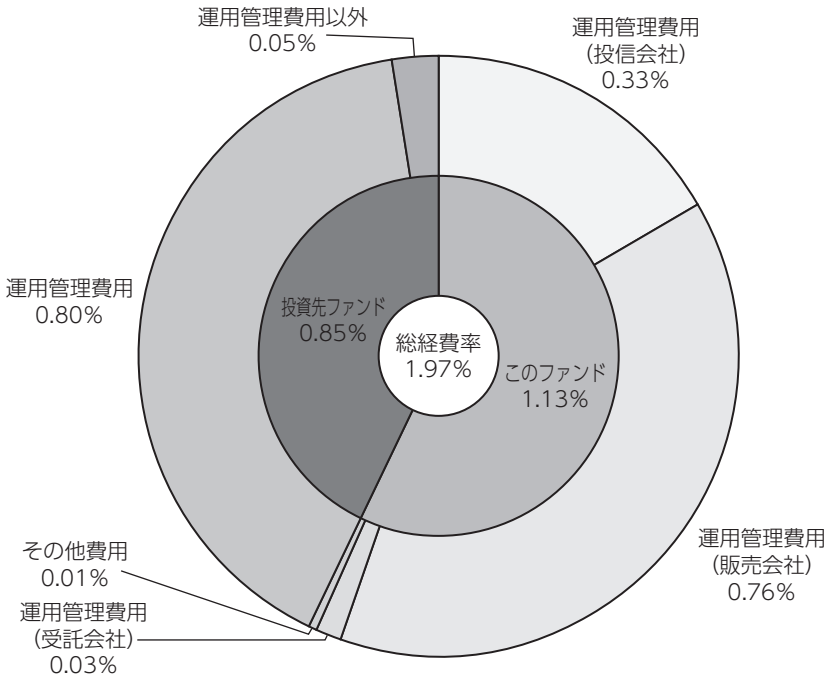
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.97%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年4月17日から2020年4月27日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国 内	アンカーMFG グローバル株式 ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関 投資家専用)	千□	千円	千□	千円
		8,135,066.719	8,183,000	1,744,731.479	1,957,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年4月17日から2020年4月27日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□	千円	千□	千円
	0	1	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千□ 6,390,335.24	千円 6,471,492	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□	千円
	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 6,471,492	% 97.7
	1	0.0
ダイワ・マネー・マザーファンド		
コール・ローン等、その他	154,440	2.3
投資信託財産総額	6,625,934	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,625,934,186円
コール・ローン等	154,440,689
投資信託受益証券(評価額)	6,471,492,497
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	43,362,214
未払解約金	1,180,306
未払信託報酬	41,875,540
その他未払費用	306,368
(C) 純資産総額(A－B)	6,582,571,972
元本	6,557,060,944
次期繰越損益金	25,511,028
(D) 受益権総口数	6,557,060,944口
1万口当り基準価額(C／D)	10,039円

* 期首における元本額は746,185,215円、当作成期間中における追加設定元本額は9,650,602,942円、同解約元本額は3,839,727,213円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2019年4月17日 至2020年4月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 59,632円
受取利息	30,498
支払利息	△ 90,130
(B) 有価証券売買損益	△ 81,242,835
売買益	227,028,646
売買損	△308,271,481
(C) 信託報酬等	△ 73,733,382
(D) 当期損益金(A + B + C)	△155,035,849
(E) 追加信託差損益金	180,546,877
(配当等相当額)	(△ 79,817)
(売買損益相当額)	(180,626,694)
(F) 合計(D + E)	25,511,028
次期繰越損益金(F)	25,511,028
追加信託差損益金	180,546,877
(配当等相当額)	(△ 79,817)
(売買損益相当額)	(180,626,694)
繰越損益金	△155,035,849

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	25,650,477
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	25,650,477
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	25,650,477
(h) 受益権総口数	6,557,060,944口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年4月27日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年4月17日～2020年4月27日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年4月27日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（58,678,756千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年4月27日現在			
	評	価	額	比 率
			千円	%
国内短期社債等			999,972	<1.7>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

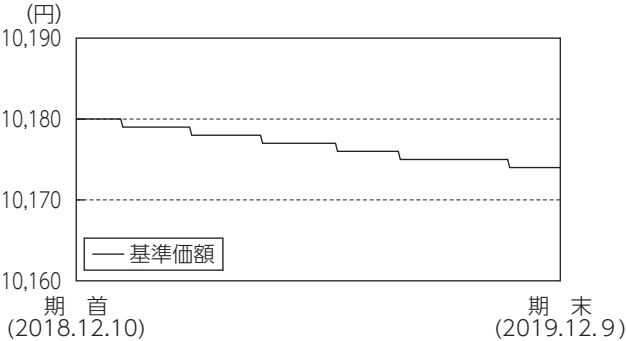
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	—	—
12月末	10,180	0.0	—
2019年 1 月末	10,179	△0.0	—
2 月末	10,179	△0.0	—
3 月末	10,178	△0.0	—
4 月末	10,178	△0.0	—
5 月末	10,177	△0.0	—
6 月末	10,176	△0.0	—
7 月末	10,176	△0.0	—
8 月末	10,175	△0.0	—
9 月末	10,175	△0.0	—
10月末	10,175	△0.0	—
11月末	10,174	△0.1	—
(期末)2019年12月 9 日	10,174	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 350,004	千円 — (350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国内短期社債等	千円 238,999,542	千円 238,999,547 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期			期 末		
買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18		千円 350,004			千円

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期		期 末	
	評 価	額 比	率	
	千円		%	
国内短期社債等	999,997		<1.2>	

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価	額 比	率	
	千円		%	
コール・ローン等、その他	83,690,918		100.0	
投資信託財産総額	83,690,918		100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A－B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E Gグローバル・バリュ－ (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF E Gグローバル・バリュ－ (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/“R I C I”[®] コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券N B戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券N B戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、N Bストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、N Bストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N Bストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワF E Gグローバル・バリュ－株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国M L Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース9,817円、ダイワ米国M L Pファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国M L Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間		追加型信託／海外／株式 無期限
運用方針		アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用 対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法		- 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 - ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 - ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 - 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 - 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 - マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	- アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 - 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 - 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 - 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 - GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 - 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 - 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 - 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 - デリバティブ取引は、原則として行いません。
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	- 株式等への投資割合には制限を設けません。 - 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 - 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 - GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 - ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 - キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 - 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 - デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2020年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2020年4月1日に第1期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ 仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

<<アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）>>

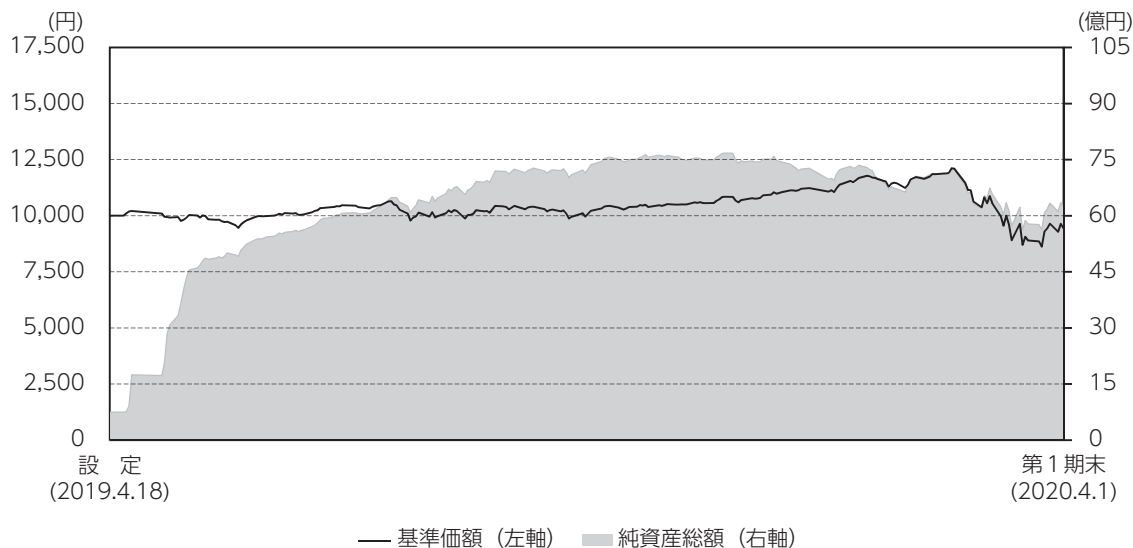
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率			
(設 定 日) (2019年4月18日)	円 10,000	円 －	% －	10,000	% －	% －	% －	百万円 746
1 期 (2020年4月1日)	9,436	0	△5.6	8,344	△16.6	79.1	3.7	6,228

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,436円

騰落率：△5.6%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	△5.0%

■基準価額の主な変動要因

株式および為替がともにマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。株式では、一般消費財、生活必需品セクターでの保有銘柄のリターンが大きく値下がりしたことがマイナス要因となりました。米ドル円相場も円高米ドル安となりマイナス寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(設 定 日) 2019年4月18日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
4月末	10,210	2.1	10,010	0.1	43.2	1.6
5月末	9,737	△2.6	9,369	△ 6.3	83.4	3.2
6月末	10,062	0.6	9,705	△ 3.0	88.4	3.1
7月末	10,504	5.0	9,965	△ 0.3	88.1	3.1
8月末	10,245	2.5	9,473	△ 5.3	89.0	3.4
9月末	10,200	2.0	9,775	△ 2.3	88.2	3.3
10月末	10,493	4.9	10,150	1.5	85.8	3.2
11月末	10,849	8.5	10,533	5.3	90.5	3.1
12月末	11,234	12.3	10,847	8.5	89.2	3.0
2020年1月末	11,447	14.5	10,862	8.6	91.3	3.2
2月末	10,630	6.3	10,007	0.1	90.6	3.4
3月末	9,639	△3.6	8,512	△14.9	79.5	3.7
(期 末) 2020年4月1日	9,436	△5.6	8,344	△16.6	79.1	3.7

(注) 騰落率は設定日比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて下落しました。期の前半は、米国が対中制裁関税を繰り返し発表するなど米中間の貿易協議を巡る緊張感の高まりや、米国での長短金利の逆転を受けた景気後退懸念の高まりがマイナス要因となりましたが、好調な米国の企業業績のほか、米連邦準備制度理事会（F R B）議長の利下げ示唆発言などを受けて世界的な金融緩和への期待が高まったこと、米中首脳会談が開催されるなど両国間の貿易協議再開観測が広がったことなどがプラス要因となり、概ね横ばいで推移しました。期の後半は、米中貿易協議での「第一段階」の詳細合意発表や、同「第一段階」合意文書への署名を受けた同協議の進展期待、英国総選挙での与党・保守党勝利によるE U離脱を巡る不透明感の後退、米国経済指標の改善などが好材料となり、米国株価指数が最高値を更新するなど堅調な展開となりました。しかし、その後新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落などを受けて、世界的な景気後退に対する警戒感が強まり、株価は急落するなど大きく値を消す展開となりました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初から夏場にかけては、米中貿易摩擦による世界経済の減速懸念、F R Bによる利下げ期待の高まりなどを背景に、円高米ドル安の展開となりました。その後年明けにかけては、米中貿易協議の進展期待や米株高を受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まり、円安米ドル高基調で推移しました。期の終盤には、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落により、投資家のリスク回避姿勢が強まると一時円が買い進まれて急伸びしましたが、その後資金現金化需要の高まりから米ドルが急速に買い戻されるなど、値動きの激しい展開となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

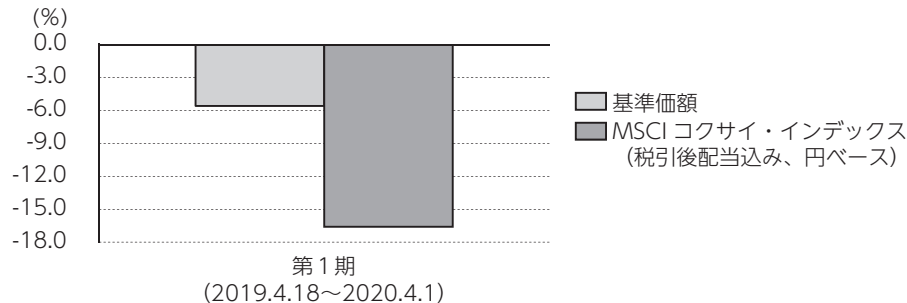
○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、デジタル・プラットフォームの拡大やキャッシュレス社会への移行、高齢化する人口動態や中国の消費拡大などから恩恵を受けると考えられる銘柄を選択しました。具体的には、マイクロソフトやアルファベット、フェイスブック（デジタル・プラットフォームの拡大）、ビザやマスターカード（キャッシュレス社会への移行）、ノバルティスやHCAヘルスケア（高齢化する人口動態）、スターバックスやアリババ（中国の消費拡大）などを組み入れました。期の終盤には、新型コロナウイルスの感染拡大を巡る状況を踏まえ、株式市場を巡るリスクが高まっていると判断し、資産保全の観点から、保有する現金の比率を高めました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させて頂きます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年4月18日 ～2020年4月1日	
当期分配金（税込）（円）	0	
対基準価額比率（％）	－	
当期の収益（円）	－	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配対象額（円）	30	

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオ構築を行います。株式市場を巡る不透明性が高まっており、資産の保全に配慮した運用を続ける方針ですが、中長期的な保有銘柄のエコノミック・モートに対する見方に変更はありません。

保有銘柄の多くは、テクノロジー・プラットフォームの拡大、キャッシュレス社会への移行、高齢化する人口動態、中国の消費拡大などから恩恵を受けると考えられます。

1万円当りの費用の明細

項 目	第 1 期		項 目 の 概 要
	(2019.4.18～2020.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	82円	0.786%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,438円です。
(投信会社)	(78)	(0.747)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(1)	(0.010)	販売会社分は、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	7	0.067	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.067)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	5	0.049	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.038)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	
合 計	94	0.902	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2019年4月18日から2020年4月1日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	8,303,839	8,392,164	1,748,860	1,973,280

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年4月18日から2020年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	14,649,052千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,018,135千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	2.43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2020年4月1日現在)

	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	6,554,978	6,228,540

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	6,228,540	99.8
コール・ローン等、その他	13,702	0.2
投資信託財産総額	6,242,242	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.59円、1スイスフラン=111.96円、1英ポンド=133.61円、1香港ドル=13.88円、1ユーロ=118.69円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(8,125,731千円)の投資信託財産総額(8,137,521千円)に対する比率は99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,242,242,229円
コール・ローン等	13,701,865
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	6,228,540,364
(B) 負債	13,540,208
未払信託報酬	12,990,208
その他未払費用	550,000
(C) 純資産総額(A－B)	6,228,702,021
元本	6,600,720,362
次期繰越損益金	△ 372,018,341
(D) 受益権総口数	6,600,720,362口
1万口当り基準価額(C÷D)	9,436円

* 期首における元本額746,000,000円、当期中における追加設定元本額7,599,451,841円、同解約額1,744,731,479円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は9,436円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は372,018,341円です。

■損益の状況

当期(自2019年4月18日 至2020年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 394,629,018円
売買益	197,610,909
売買損	△ 592,239,927
(B) 信託報酬等	△ 49,644,922
(C) 当期損益金(A+B)	△ 444,273,940
(D) 追加信託差損益金	72,255,599
(売買損益相当額)	(72,255,599)
(E) 合計(C+D)	△ 372,018,341
次期繰越損益金(E)	△ 372,018,341
追加信託差損益金	72,255,599
(配当等相当額)	(7,050,029)
(売買損益相当額)	(65,205,570)
分配準備積立金	12,982,982
繰越損益金	△ 457,256,922

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額12,982,982円(1万口当り19.67円)、収益調整金額7,050,029円(1万口当り10.68円)から分配対象収益額は20,033,011円(1万口当り30円)となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2019年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2020年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（8,564,322千口）の内容です。

（2020年4月1日現在）

(1) 外国株式

銘柄	株数	当期末 評価額		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
YUM! BRANDS INC	316	2,171	233,588	消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A	122	1,952	210,057	家庭用品・パーソナル用品
MCDONALDS CORP	98	1,636	176,049	消費者サービス
MICROSOFT CORP	345	5,449	586,312	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	461	2,780	299,198	公益事業
PEPSICO INC	156	1,885	202,816	食品・飲料・タバコ
STARBUCKS CORP	554	3,644	392,068	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	90	2,183	234,970	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	192	3,093	332,882	ソフトウェア・サービス
HCA HEALTHCARE INC	177	1,592	171,385	ヘルスケア機器・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	240	4,019	432,480	メディア・娯楽
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	235	4,570	491,716	小売
EVERSOURCE ENERGY	216	1,696	182,563	公益事業
ALPHABET INC-CL A	4	497	53,506	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	32	3,758	404,344	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	212	1,873	201,604	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,458 16銘柄	42,806 — 4,605,547 <56.6%>	
(ドイツ)	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	205	2,112	250,725	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	205 1銘柄	2,112 — 250,725 <3.1%>	
(フランス)	百株	千ユーロ	千円	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	58	1,988	236,042	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	58 1銘柄	1,988 — 236,042 <2.9%>	
(ベルギー)	百株	千ユーロ	千円	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	183	743	88,209	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	183 1銘柄	743 — 88,209 <1.1%>	
(オランダ)	百株	千ユーロ	千円	
HEINEKEN NV	90	690	82,005	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	90 1銘柄	690 — 82,005 <1.0%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	538 4銘柄	5,535 — 656,982 <8.1%>	

銘柄	株数	当期末 評価額		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス)	百株	キススフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	387	3,095	346,621	医薬品/化学・バイオ/ヘルスケア
NESTLE SA-REG	272	2,707	303,134	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	659 2銘柄	5,803 — 649,756 <8.0%>	
(イギリス)	百株	千英ポンド	千円	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	394	2,423	323,816	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	394 1銘柄	2,423 — 323,816 <4.0%>	
(中国)	百株	千香港ドル	千円	
TENCENT HLDG LTD	383	14,584	202,437	メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	383 1銘柄	14,584 — 202,437 <2.5%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,434 24銘柄	— — 6,438,541 <79.1%>	

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	口数	当期末 評価額		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	19	2,788	300,031	不動産
合計	金 銘柄数<比率>	19 1銘柄	2,788 — 300,031 <3.7%>	

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2019年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2019年7月1日に第1期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



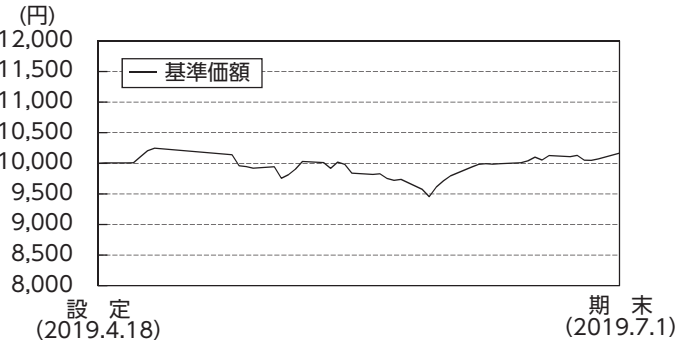
運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率			
(設 定 日) (2019年4月18日)	円	%		%	%	%	百万円
	10,000	－	10,000	－	－	－	746
1 期 (2019年7月1日)	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1	5,709

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(設 定 日) 2019年 4 月18日	円	%		%	%	%
	10,000	－	10,000	－	－	－
4 月末	10,248	2.5	10,010	0.1	43.2	1.6
5 月末	9,737	△2.6	9,369	△6.3	83.4	3.2
6 月末	10,072	0.7	9,705	△3.0	88.3	3.1
(期 末) 2019年 7 月 1 日	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1

(注) 騰落率は設定日比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：10,166円 騰落率：+1.7%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。主として、情報技術（独SAP、マイクロソフトなど）や一般消費財（スターバックスなど）及びヘルスケア（ノバルティス）セクターでの組入銘柄の株価が上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初堅調に始まった後、米国が対中制裁関税第3弾となる税率引き上げを決定したことを受けて、米中間の貿易協議を巡る緊張感が高まり、続落する展開となりました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）議長による利下げ示唆発言や低調な米雇用統計などを受けて米利下げ観測が高まったことや、6月末の首脳会談の開催決定を受けて、米中貿易摩擦の緩和への期待が高まったことなどから、株価は反発し、期初の水準を上回りました。

情報技術セクターでは、好調なクラウド関連事業を受け、良好な企業決算や19年度の利益予想の引き上げが行われたことが好感され、独SAPやマイクロソフトの株価が堅調でした。一般消費財セクターでは、米中貿易協議での進展期待の高まりを背景に、収益の大きな割合を中国で上げているスターバックスの株価が上昇しました。ヘルスケアセクターでは、本邦企業に対する事業買収が好感され、スイス・ノバルティスの株価が大きく値上がりしました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初、好調な米国の企業決算発表などを背景に、米ドル高基調が始まりました。しかし、米国が対中制裁関税第3弾となる税率引き上げを決定したことを受けた、米中間の貿易協議を巡る緊張感の高まり、低調な米経済指標や米国債利回りの低下が材料となり、米ドルが続落する展開となりました。その後期末にかけても、米中間の貿易協議を巡る緊張感の一層の高まり、FRB高官発言を受けた米利下げ観測の強まりや米国債利回りの一段の低下などを背景に、米ドル安基調で推移しました。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。当期は、米利下げ観測の台頭などを受け低金利環境が続き、株式市場の重しとなる金利上昇リスクは後退したとの見方から、キャッシュ保有比率を引き下げ、相対的な魅力度の増したディフェンシブ（低ベータ）銘柄の組み入れ比率を高めました。個別銘柄では、デジタル・プラットフォームの拡大やキャッシュレス社会への移行、高齢化する人口動態や中国の消費拡大などから恩恵を受けると考えられる銘柄を選択しました。具体的には、マイクロソフトやアルファベット、フェイスブック（デジタル・プラットフォームの拡大）、ビザやマスターカード（キャッシュレス社会への移行）、ノバルティスやHCAヘルスケア（高齢化する人口動態）、スターバックス（中国の消費拡大）などを組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+1.7%、△1.9%となりました。

《今後の運用方針》

引き続き、ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。長引く米中貿易協議は世界経済の成長を鈍化させ、同協議での交渉成立や各国中銀による緩和策では十分に対応し切れない可能性があることから、引き続き、株式市場動向については慎重な見方をしています。しかしながら、年内は低金利環境が続き、これまである程度想定してきたインフレ高進を背景とする金利上昇リスクは著しく低下したと考えられることから、キャッシュ保有比率を引き下げ、低感応度銘柄群の比率を高める方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	4円 (4) (0)
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合 計	4

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2019年4月18日から2019年7月1日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ		百株 3,092	千米ドル 36,659	百株 445	千米ドル 1,478
スイス		百株 410	千スイスフラン 3,693	百株 －	千スイスフラン －
イギリス		百株 240	千英ポンド 1,492	百株 －	千英ポンド －
ユ ー ロ	ベルギー	百株 60	千ユーロ 451	百株 －	千ユーロ －
	ドイツ	百株 173	千ユーロ 1,930	百株 －	千ユーロ －
	フランス	百株 25	千ユーロ 879	百株 －	千ユーロ －
	オランダ	百株 46	千ユーロ 454	百株 －	千ユーロ －
	ユーロ 通貨計	百株 307	千ユーロ 3,717	百株 －	千ユーロ －

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	千口 12	千米ドル 1,574	千口 －	千米ドル －

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2019年4月18日から2019年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,238,987千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,302,350千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.58

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2019年4月18日から2019年7月1日まで)

(1) 株式

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
MICROSOFT CORP		28	396,786	13,855	KRAFT HEINZ CO/THE		36	116,980	3,237
FACEBOOK INC-CLASS A		18	369,687	20,282	WELLS FARGO AND CO		8	43,131	5,113
ALPHABET INC-CL C		2	317,376	129,119					
VISA INC-CLASS A SHARES		17	317,016	17,723					
STARBUCKS CORP		36	311,230	8,505					
APPLE INC		14	304,407	21,437					
HCA HEALTHCARE INC		18	243,360	13,490					
MASTERCARD INC - A		8	236,005	27,102					
SAP SE		17	235,940	13,565					
ORACLE CORP		37	220,611	5,945					

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
CROWN CASTLE INTL CORP		12	172,556	13,758		—	—	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2019年7月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄		当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	千米ドル 千円	
AMERICAN EXPRESS CO		113	1,399	151,475 各種金融
APPLE INC		142	2,810	304,232 テクノロジー・ハードウェア・ソフトウェア
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B		55	1,193	129,154 各種金融
YUM! BRANDS INC		189	2,092	226,542 消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A		29	545	59,068 化粧品・パーソナル用品
LOWES COS INC		120	1,214	131,486 小売
MCDONALDS CORP		39	829	89,826 消費者サービス
MICROSOFT CORP		286	3,836	415,270 ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC		87	522	56,547 公益事業
ORACLE CORP		371	2,113	228,814 ソフトウェア・サービス
PEPSICO INC		103	1,355	146,717 食品・飲料・タバコ
STARBUCKS CORP		365	3,067	332,057 消費者サービス
CME GRP INC		25	504	54,590 各種金融
MASTERCARD INC - A		87	2,303	249,356 ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		178	3,104	336,039 ソフトウェア・サービス
HCA HEALTHCARE INC		180	2,438	263,949 ヘルスケア・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A		182	3,517	380,803 メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL A		3	364	39,500 メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C		24	2,656	287,606 メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC		59	497	53,814 公益事業
小 計	株数・金額	2,647	36,368	3,936,855
	銘柄数<比率>	20銘柄	—	<69.0%>
(ドイツ)		百株	千ユーロ 千円	
SAP SE		173	2,100	258,220 ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額	173	2,100	258,220
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<4.5%>
(フランス)		百株	千ユーロ 千円	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		25	970	119,320 耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額	25	970	119,320
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<2.1%>
(ベルギー)		百株	千ユーロ 千円	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV		60	472	58,087 食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	60	472	58,087
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<1.0%>
(オランダ)		百株	千ユーロ 千円	
HEINEKEN NV		46	460	56,574 食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	46	460	56,574
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<1.0%>
ユーロ計	株数・金額	307	4,003	492,203
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	<8.6%>
(スイス)		百株	千スイスフラン 千円	
NOVARTIS AG-REG		230	2,051	226,741 医薬品・ヘルスケア・サービス
NESTLE SA-REG		180	1,824	201,589 食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	410	3,876	428,330
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	<7.5%>

銘 柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)		百株	千英ポンド	千円	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC		240	1,497	205,736	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	240	1,497	205,736	
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄	—	< 3.6 % >	
合 計	株 数 ・ 金 額	3,606	—	5,063,126	
	銘柄数 < 比率 >	27銘柄	—	< 88.7 % >	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘 柄	当 期 末			業 種 等
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	12	1,634	176,972	不動産
合 計	金 額 銘柄数<比率>	12 1銘柄	1,634 -	176,972 <3.1%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2019年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	5,063,126	88.0
投資証券	176,972	3.1
コール・ローン等、その他	514,879	8.9
投資信託財産総額	5,754,977	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.25円、1スイスフラン=110.50円、1英ポンド=137.42円、1ユーロ=122.94円です。
(注3) 当期末における外貨建資産（5,685,819千円）の投資信託財産総額（5,754,977千円）に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,778,377,198円
コール・ローン等	514,875,696
株式（評価額）	5,063,126,340
投資証券（評価額）	176,972,480
未収入金	23,402,682
(B) 負債	69,089,686
未払金	69,089,686
(C) 純資産総額(A－B)	5,709,287,512
元本	5,616,108,301
次期繰越損益金	93,179,211
(D) 受益権総口数	5,616,108,301口
1万口当り基準価額(C／D)	10,166円

* 期首における元本額746,000,000円、当期中における追加設定元本額4,870,108,301円、同解約額0円
* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）5,616,108,301円
* 当期末の計算口数当りの純資産総額は10,166円です。

■損益の状況

当期（自2019年4月18日 至2019年7月1日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,895,764円
受取配当金	9,545,925
受取利息	349,839
(B) 有価証券売買損益	101,026,720
売買益	247,345,323
売買損	△ 146,318,603
(C) 信託報酬等	△ 34,972
(D) 当期損益金(A + B + C)	110,887,512
(E) 追加信託差損益金	△ 17,708,301
(F) 合計(D + E)	93,179,211
次期繰越損益金(F)	93,179,211

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。